

NEWS LETTER

**新型コロナウイルス感染症が拡大
通いの場づくりの活動がストップ
会議は「移動販売」の検討へ**

1月に開催された第1回萩島地区地域支え合い会議で計画し、4月に実施を予定していた「輝の杜こしがや」での「通いの場づくり」のイベントが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延期となりました。



「幻」となったイベントのチラシ

その後、緊急事態宣言が発令されるなど、同施設内は感染症拡大防止のため、地域への開放はもとより、ご家族の入館ができなくなるなど、利用者の皆さんの生活に大きな影響を与える状況となっています。

**「コロナ禍の今、
でキネハマ」に取り組み**

萩島地区地域支え合い会議では感染症拡大のリスクが拭えない状況での「通いの場づくり」の展開を延期し、方向転換を図り「移動販売」の検討へと舵を切りました。
7月に行なわれた第2回目

の会議では、移動販売についての情報共有のほか、買い物環境に関するアンケートを作成。移動販売だけでなく、買い物支援にどのような仕組みが必要なのか調査を行う準備に取り組みました。

**移動販売成功のポイント
は企業と住民の協働**

10月の会議にはイオンリテール株式会社の皆さんに参加いただき、埼玉県狭山市で実施する移動販売の取り組みやイオンせんげん台店の買い物バスのお話を伺いました。



動画を交え、移動販売の状況を説明するイオンリテールの皆さん
たくさんの質問にお答えいただきました

こうした社会貢献型のサービスには企業の努力だけでな

【買い物環境アンケートを実施】
9月15日から10月末までの期間で「買い物環境アンケート」を行いました。5か所のふれあいサロンさん1か所のグラウンドゴルフの会の皆さん、地域包括支援センターの職員の皆さんの協力で合計121人の方に回答をいただきました。現在、結果の集計作業を行っています。

アンケートに答えるサロンの皆さん（ふれあいサロン野合）

く、停車時間の周知や利用の促進、駐車場の協力など、地域住民や自治会等の協力が不可欠という点を会議の中で共有することができました。

**新たなキーワード
「社会資源の維持」**

「9月末で近所の個人商店が閉店。我が家の冷蔵庫のように使っていたお店がなくなりとても不便に感じている」

地区内にスーパーマーケットやドラッグストアなどがない萩島地区にとって、地域の

＜topic!!＞ 『新たなサロンが開設』

ビニールシートで感染防止対策

10月、中組自治会内に新たなふれあいサロン「憩い処よつ葉」が誕生しました。昨年から不定期で取り組んでいた集いの場を今回、ふれあいサロン活動として新たに開設、越谷市社協への登録となりました。コロナ禍で行われた第1回目の開催では、代表の小島さんがお仕事で使われているビニールシートを設置し、感染防止対策を講じて、実施されていました。

シート越しでもお話が弾みます

【編集後記】立ち上げから間もなく1年を迎える萩島地区地域支え合い会議。コロナ禍ではありますが、少しずつ実現可能な取り組みが見えるようになってきたのではないのでしょうか。「興味がある」「一緒に考えたい」と思われた方は、是非、会議にご参加ください。

今後のスケジュール
●次回の地域支え合い会議
12月26日(水)13時30分～
会場・萩島地区センター
☎ 966-3411 (社協 染谷)